

【文部科学省委託事業】

発達障害のある児童生徒等に対する支援事業

(効果的かつ効率的な巡回指導の実施に向けたモデル構築事業)

成果報告会発表資料

～ 今年度までの事業実施状況と今後の展望 ～



令和8年1月27日(火)

【団体名】

愛媛県教育委員会

【発表者】

指導主事 橋口 信子

事業背景等・事業目標

事業背景・自治体における課題

事業背景

本県では、小・中学校で通級による指導を受ける児童生徒数が令和7年度までの10年で、約1.4倍と増加する中、自校通級を中心に充実を図り、令和7年度は115教室を設置している。しかし、小規模の学校では、対象児童生徒数が少ないため、他校通級を選ばざるを得ない状況もあり、事業開始前の令和4年度は26.9%の児童生徒が他校通級であった。また、通級による指導担当教員の47%が経験年数15年以上であり、重ねてこの経験豊富な担当教員が退職期を迎えるため、経験の浅い教員の専門性向上に有効なOJTが必要となっている。

課題

- 地理的条件や地域の実情によって特別な教育的支援が必要な児童生徒が支援を受けることができていないこと
- 他校通級を利用するための移動が本人・保護者にとって大きな負担となっていること
- 経験年数が浅い指導担当教員の専門性の向上が必要

事業目標

特別な教育的支援が必要な児童生徒が、必要に応じて適切な指導を受けられるように、通級指導教室の未設置校において効果的かつ効率的な巡回指導を実施するためのモデル構築に向けた取組を行う。

- 巡回指導担当者と巡回先の学校との連携体制を構築する。
- 継続可能な巡回指導の在り方を検討・実証し、体制整備を行う。

2 事業実施体制

運営協議会を設置するとともに、巡回指導スーパーバイザー（以下、「巡回指導SV」という。）を配置し、特別支援教育地域リーダーを活用しながら、事業に取り組む。さらにモデル地域は、巡回指導アドバイザー（以下、「巡回指導AD」という。）及び専門家を配置し事業実施にあたる。巡回指導SVは、事業全体を統括するとともに、事業の周知や体制整備のための助言をする。巡回指導SV及び巡回指導ADは、通級による指導担当教員の指導や巡回先校の体制整備等について指導・助言する。また、特別支援教育地域リーダーは事業内容を把握し、通級未設置地域等での理解啓発を行う。これらのことを実施し、事業推進のための支援体制の構築を図る。

運営協議会

構成人数 8 名

外部専門家 4 名

【内 訳】

- 大学関係者： 1 名
- 学校関係者： 2 名
- 関係分野関係者： 1 名
(医療・福祉分野など)

開催回数 3 回

(令和7年度)

【開催時期】

- ①令和7年6月、②同年10月、
- ③令和8年2月(予定)

※本県では運営協議会を巡回指導モデル検討会議と名している。

巡回指導SV

配置人数 1 名

主な経歴・専門分野等

元特別支援学校教頭

配置計画・活動内容

- 事業全体を統括
- 運営協議会における指導・助言
- 年間約17回派遣(巡回指導開始市町及びモデル校対象)
 - ・県立特別支援学校の巡回先学校の体制整備の検討
 - ・市町教育委員会等への助言
 - ・通級指導教室担当教員の専門性向上への助言
 - ・特別支援教育地域リーダーの活動への助言

専門家の活用

人数 1 名

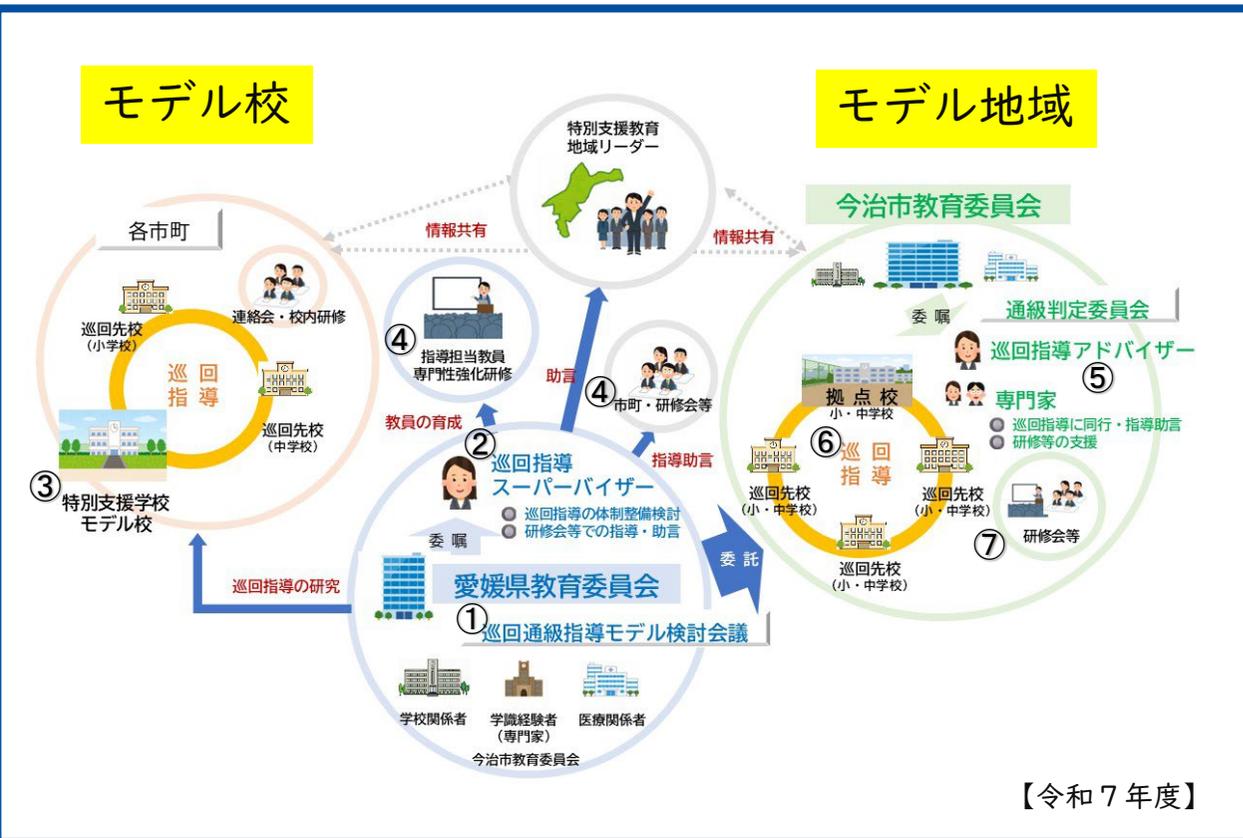
主な経歴・専門分野等

愛媛大学教育学部教授

活動内容

専門家の立場から、事業推進に関わる協議や研究成果の分析を「運営協議会」において行う。

3 取組概要・成果



- ① 巡回通級指導モデル検討会議（運営協議会）の開催
- ② 巡回指導SVによる指導・助言
- ③ 宇和特別支援学校（聴覚障がい部門）における巡回指導及び松山盲学校における巡回相談の実践
- ④ 通級による指導担当教員の育成
- ⑤ 巡回指導AD及び専門家による指導・助言
- ⑥ 今治市における巡回指導の検討・実証
- ⑦ 今治市通級指導教室部会の開催
 - 研修会
 - 研究協議 等

事業フェーズ（事業実施概要）

事業1年目（令和5年度）

- 令和5年6月7日、モデル地域である宇和島市教育委員会において、検討会議委員を招聘し、初めて巡回通級指導モデル検討会議を実施した。
- 令和5年6月20日、県内全通級による指導担当教員で研修を実施した。

事業2年目（令和6年度）

- 令和6年5月～7月頃、モデル地域である宇和島市の取組をもとに、通級未設置地域である2町において巡回指導SVを派遣し、研究会を実施した。
- 令和6年11月12日、県内全通級による指導担当教員で初めての授業研究、研究協議の研修を実施した。

事業3年目（令和7年度）

- 令和7年4月から、モデル校である宇和特別支援学校の取組をもとに、松山盲学校による巡回相談を開始した。
- 令和7年6月9日、新たなモデル地域である今治市教育委員会において、検討会議委員を招聘し、巡回通級指導モデル検討会議を実施した。

3 取組概要・成果

(1) 巡回指導を効果的かつ効率的に実施するための方法や体制整備等の検討・実証

発達障害のある児童生徒等に対する支援事業
(効果的かつ効率的な巡回指導の実施に向けたモデル構築事業)

愛媛県教育委員会

巡回通級指導モデル検討会議において、年3回検討会議を開催し、巡回指導についての検討を行った。また、巡回指導SVを巡回指導及び巡回相談実施校や各市町の研修会にて指導・助言を行うために派遣した。島しょ部を擁する市を新しくモデル地域とし、前モデル地域の成果と課題及び検討会議での内容をもとに、巡回先校の環境整備や通級指導教室部会での研修による教員の資質向上、巡回指導担当教員の負担軽減等に取り組んだ。

取組内容（詳細）

検討会議



- ・今年度の取組について
- ・モデル地域の進捗状況と今後の取組について
- ・成果物について

巡回指導SVによる指導・助言



- 【市町教育委員会に】
 - ・巡回指導における体制整備及び通級による指導の内容や効果についての指導・助言
- 【モデル校に】
 - ・巡回先校、拠点校の校内体制整備についての指導・助言

モデル校による取組

- ・センター的機能を有する特別支援学校の専門性を生かした巡回先校への支援
- ・特別支援学校教員による通級指導の効果の検証

モデル地域（今治市）による取組

- 【巡回指導担当教員の負担軽減】
 - ・タブレット端末による教材・教具の共有
 - ・効率的な巡回ルートの設定
- 【巡回指導担当教員を取り巻く環境整備】
 - ・兼務発令による身分の明確化
 - ・巡回先校における教室等の環境整備
- 【通級指導教室部会】
 - ・「今治市通級指導教室担当者手引」の作成による巡回指導システムの明確化
 - ・巡回指導AD、専門家による指導・助言



特色・ポイント

- ・2年次までの成果を生かした実践



- ・島しょ部への巡回指導の実践
- ・タブレット端末を使用した担当教員の負担軽減
- ・特別支援学校の専門性を生かした巡回指導及び巡回指導の効果検証

取組の成果

- 令和6年度検討会議による課題をもとに教員の専門性向上を客観評価できる成果物を作成することができた。
- 巡回指導SVによる指導・助言により、新たに通級指導教室を設置した町及びモデル校における巡回指導の実施体制整備を充実させることができた。
- モデル地域の取組により、島しょ部での巡回指導の実践や、巡回指導AD及び専門家による教員の専門性の向上や負担軽減を図るためのタブレット端末の利用効果を検証することができた。

3 取組概要・成果

(1) 巡回指導を効果的かつ効率的に実施するための方法や体制整備等の検討・実証

発達障害のある児童生徒等に対する支援事業
 (効果的かつ効率的な巡回指導の実施に向けたモデル構築事業)
 愛媛県教育委員会

【成果物（案）「通級指導担当者手引」】

前モデル地域 成果物



巡回指導について

【対象者】

- ① 在籍校に通級指導教室が設置されておらず、かつ他校通級が困難な児童生徒
- ② 通級指導校からの距離が遠い小・中学校に在籍する児童生徒
- ③ 集団適応や人間関係等に課題があり、通級指導担当者による在籍学校の奉養及び支援が定期的に必要な児童生徒

※ ②③については、①の内容も満たしていること
 ※ 希望者多数の場合は、上学年を優先する

【対象者決定の際の留意事項】

- ① 教育相談の際、巡回指導・他校通級の希望を聞く。巡回指導が利用できない場合、他校通級が可能かどうかを確認しておく。
- ② 第4回教育支援委員会小委員会（2月）後の通級指導教室担当者連絡会で巡回指導対象者について検討する。

現モデル地域 成果物（作成中）

情報提供

今治市 巡回通級指導教室

ご案内

通級を希望されたら

年齢を通じて、相談することができます。相談したいことがある方は、学校担任の特別支援教育コーディネーターにお申し出の上、通級のための教育相談を受けてください。

```

    通級希望の申し込み
    ↓
    通級の相談・相談
    ↓
    通級に関する書類・許可
    ↓
    通級の通知
    ↓
    通級開始
    
```

通常の学校に在籍する今治市内（島しょ部）の小中学生で、上記の手続きにより通級が認められ、判断された児童が通級の対象となります。通級の開始は、保護者の方の送り迎えについて、相談させていただきます。

例えばこのようなことで困っているお子さんのための教室です

【行動のこと】

- ・落ち着きがない。
- ・集団行動がとりにくい。
- ・気持ちの切り替えが苦手。
- ・整理整頓が難しい。
- ・忘れやすい。
- ・こだわりが強い。

【学習のこと】

- ・行をとばして読む。
- ・板書に時間が掛かる。
- ・読み書きが難しい。
- ・漢字が覚えられない。
- ・計算だけができない。

【対人関係のこと】

- ・友達とうまく遊べない。
- ・気持ちを伝えることが苦手。
- ・人の気持ちを考えることが苦手。
- ・一方的に話してしまう。

【言葉のこと】

- ・発音できない音がある。
- ・最初の言葉が出にくい。
- ・学校や外出先で話さない。
- ・言葉が少ない。

【その他】

- ・新しいことに緊張する。
- ・音や眩しさなどに過敏である。
- ・集団が苦手である。

通級指導教室で自立活動の指導を行います

- ・気持ちの整理の仕方を身に付ける。
- ・アンガーマネジメントメモする方法を身に付ける。
- ・自分なりの集中できる方法を見付ける。

- ・自分に合った漢字の覚え方を見付ける。
- ・ICTを活用して読み書きを楽にする。
- ・道具を利用して苦手さをカバーする方法を考え、練習する。

- ・会話のパターンを学ぶ。
- ・表情から気持ちを読み取る。
- ・気持ちを表す言葉を知る。

- ・自分の強みと弱みを知る。
- ・苦手な感覚を遮断するグッズを試してみる。
- ・してもらいたいことを伝える練習をする。

- ・音を正しく聞き分ける。
- ・発音練習をする。
- ・家な話し方を考え、実践してみる。

取りまとめたものを、ガイドブックにして情報共有する。

3 取組概要・成果

(2) 通級指導担当教員及び指導的立場の教員等の育成

通級による指導担当教員の育成のため、自立活動に特化した研修を行った。研修をインプット形式（講義・講演）とアウトプット形式（研究授業・研究協議）を合わせて実施することで内容の充実を図った。また、指導的立場の教員等を育成するため、客観的評価ができる授業評価シート（チェックリスト）を作成した。

取組内容（詳細）愛媛県

【1. 通級による指導担当教員強化研修会】

月日	内容	対象
6/30	【オンライン】 ・事業説明 ・授業視聴（前モデル地域中学校教員による）	通級による指導担当教員、 特別支援コーディネーター、 市町教育委員会等
11/12	【参集】 ・研究授業、研究協議（モデル校及びモデル地域教員による）	通級による指導担当教員、 特別支援教育地域リーダー等
1/28	【オンライン】 ・成果報告 ・講演 「さまざまな児童生徒への個別のニーズに対応する支援のアイデア ～持続可能な巡回指導へ向けて～」 講師 東京都杉並区「月森・教育支援相談室」室長 月森 久江氏	通級による指導担当教員、 巡回相談担当教員、 巡回先校特別支援教育コ ーディネーター、 特別支援教育地域リーダー、 市町教育委員会



【研修会の様子】



【2. 成果物作成】

- ・ 通級による指導のためのチェックリスト
- ・ 「通級による指導のためのチェックリスト」に関連する研修一覧
- ・ 自立活動の教材「令和6・7年度第2回通級による指導担当教員専門性強化研修会 自作資料集」
- ・ 「チーム学校」として取り組むための通級による指導ガイドブック 別冊

研究協議で使用し、**特別支援教育地域リーダー**による視点を反映した。

担当者手引やチェックリスト、指導案等を含み「**巡回指導編**」とした別冊を作成する。

愛媛県の特徴・ポイント

- ・ 小学校、中学校、特別支援学校という多様な校種での指導の様子を視聴する機会を設けた。
- ・ 客観的評価を行うためのチェックリストを研究協議で使用しながら試行を重ねた。

3 取組概要・成果

(2) 通級指導担当教員及び指導的立場の教員等の育成

今治市取組内容（詳細）

通級指導教室部会・担当者研修会（月2～3回）

- ・巡回指導ADや専門家による指導助言
- ・授業公開、研究協議
- ・タブレット端末活用による教材、教具の共有



【公開授業の様子（東予地域の関係者と）】



【巡回指導ADによる指導助言】

平仮名や漢字を書くのが苦手…

- ・ポイント制にする。
- ・書きやすくするための工夫をする。
- ・計画的に練習する。
- ・その子に合ったテスト形式にする。
- ・パズルで形を覚える。
- ・自主学习ノートを活用する。
- ・ワークシートの工夫をする。



実 績	<p>【成果・所感】</p> <p>(N男)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 「口の体操」や「舌のトレーニング」は、単調なトレーニングのため、昨年度から継続しているN児にとって、飽きたトレーニングになりつつある。音読や会話では早口になる現状の継続指導が必要と思われるので、たくさんメニューから選択して実施してもよい。 ○ 音読の際に早口になるため、ゆっくり読む手立てとして、交替読みを提案した。担当者がゆっくり読んで、スピードのお手本を見せることができる。 ○ 昨年から構音指導で改善も見られ、通級による指導の終了についても考えていかなければならない。在籍学級や家庭での様子を情報共有して、計画的に進めていくのがよいと思われる。
	<p>(K子)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○ 国語の教材を音読すると、文の前後の内容が不十分と思われることがあったり、内容についての疑問が膨らみ、質問や思ったことの話が出てきたりする。在籍学級でもそういった疑問を思い続けて授業を受けている可能性があるため、通級指導教室で、十分その思いを受け止めて話を聞き、ご理解については修正してあげる必要がある。 ○ 音読の読み間違いを音読の後、言葉の意味を伝えながら児童に伝えていたのは、日本語の会話力を目指すK子にとって効果的である。

【巡回指導ADによる指導報告書】

今治市の特色・ポイント

巡回指導ADや専門家によるアセスメントの方法や自立活動の選択、授業の構成についての指導助言を基に専門性を高めた。モデル地域として近隣市町に呼び掛け、合同研修会を行い、技術を高め合った。

取組の成果

- 有識者による講義や指導・助言によって、通級による指導の実践的知識を習得することができた。
- 小学校教員、中学校教員、特別支援学校教員（弱視、難聴）による指導の様子を公開し、他校種の指導を知る機会を設けることができた。
- 通級による指導チェックリストについて検討委員や特別支援教育地域リーダーの専門的な視点を反映することができた。
- 通級による指導担当教員だけでなく、通常の学級担当教員等が活用できる成果物を作ることができた。

3 取組概要・成果

(2) 通級指導担当教員及び指導的立場の教員等の育成

発達障害のある児童生徒等に対する支援事業
(効果的かつ効率的な巡回指導の実施に向けたモデル構築事業)
愛媛県教育委員会

【成果物（案） 「通級による指導のためのチェックリスト」・「研修一覧」】

通級による指導担当教員の自己評価や指導的立場の教員等による客観的評価に使用することを目的としたチェックリスト

通級による指導のためのチェックリスト(案)

日付	題材名
本時のめあて	
授業者() 記載者()	
(あと少し)1→→4(よかったです)	

I 実態把握とアセスメントに基づいた指導計画

1 児童生徒の課題について適切に実態把握できている。	1-2-3-4
2 在籍学級担任が作成した個別的教育支援計画及び個別の指導計画に基づいた通級指導教室での指導目標を設定している。	1-2-3-4
3 指導目標に応じた自立活動の項目の選択及び具体的な指導内容となっている。	1-2-3-4
4 児童生徒の願いや在籍学級の担任と連携した課題や題材を準備している。	1-2-3-4

II 児童生徒の特性に応じた指導実践力

5 障がい特性に応じた効果的な指導を行っている。(えひめ特別支援パッケージ第3章参照)	1-2-3-4
6 児童生徒自身が選択する場面や活動をフィードバックする場を効果的に提案している。	1-2-3-4
7 児童生徒のつまずきの背景を把握し、児童生徒が得意としていることを手掛かりにして指導を行っている。	1-2-3-4
8 児童生徒の反応に対して、臨機応変な対応を行っている。	1-2-3-4
9 障がい特性や発達段階を考慮し、学習形態(個別・小集団指導)や時間割構成等の工夫を行っている。	1-2-3-4

III 学習環境等を整える力

10 児童生徒が安心して学べる環境が整っている。(教室環境、言語環境、教師の雰囲気等)	1-2-3-4
11 教室の使い方や授業の流れなど、学習のルールが分かりやすく設定されている。	1-2-3-4
12 児童生徒とともに本時のめあてと評価を行い、学習の目標が共有されている。	1-2-3-4

IV 支援体制構築に向けたマネジメント力(定期的な評価)

13 連絡ファイル等を通じて、学級担任や保護者と連携を図っている。	できていたら
14 在籍学級の様子を参照したり、通級による指導の様子を学級担任に参照してもらっている。	○
15 学習の様子をもとに、個別的教育支援計画を記載し、関係機関との連携を図っている。	
16 児童生徒の学びが通常の学級の中で生かせるよう校内で行っている。	

【成果・所感】



えひめ特別支援パッケージだよ！
「特別な支援を必要とする子どもへの理解と支援」事例編参照



「通級による指導のためのチェックリストに関連する研修一覧（案）」

チェック項目	研修名	自己研修等用動画・資料案内		
I 実態把握とアセスメントに基づいた	1 児童生徒の課題について適切に実態把握できている。	県教委 特別支援教育新任者基礎研修	NISE「特別支援教育リーフ」  準備中	
	2 在籍学級担任が作成した個別的教育支援計画及び個別の指導計画に基づいた通級指導教室での指導目標を設定している。	県教委 特別支援教育2年目強化研修 教育センター 課題別研修【特別支援教育】障がい特性の理解と支援の在り方		愛媛県教育委員会特別支援教育課「連携推進資料」  準備中
	3 指導目標に応じた自立活動の項目の選択及び具体的な指導内容となっている。	教育センター 課題別研修 校内で生かす個別の指導計画		
	4 児童生徒の願いや在籍学級の担任と連携した課題や題材を準備している。	教育センター 課題別研修【特別支援教育】特別支援教育におけるアセスメントと指導・支援 教育センター 課題別研修【特別支援教育】通常の学級における特別支援教育の観点を取り入れた授業づくり		
II 児童生徒の特性に応じた	5 障がい特性に応じた効果的な指導を行っている。(えひめ特別支援パッケージ第3章参照)	県教委 特別支援教育新任者基礎研修	愛媛学びの森(ログイン必要) 通級による指導担当教員による自作資料集 https://manabinomori.esnet.ed.jp/shiyo.shu/tsu-kku/jiritsu	
	6 児童生徒自身が選択する場面や活動をフィードバックする場を効果的に提案している。	県教委 特別支援教育2年目強化研修		NISE「学びのボ」(メールアドレス)  準備中
	7 児童生徒のつまずきの背景を把握し、児童生徒が得意としていることを手掛かりにして指導を行っている。	教育センター 課題別研修【特別支援教育】通級による指導担当者スキルアップ	国立特別支援教育総合研究所  準備中	
	8 児童生徒の反応に対して、臨機応変な対応を行っている。	教育センター 課題別研修【特別支援教育】特別支援学級担任スキルアップ【難関コース】 教育センター 課題別研修【特別支援教育】特別支援学級担任スキルアップ【病弱・身体虚弱コース】 教育センター 課題別研修【特別支援教育】特別支援学級担任スキルアップ【自閉症・情緒障害コース】	 準備中	
III 学習環境等を整える力	10 児童生徒が安心して学べる環境が整っている。(教室環境、言語環境、教師の雰囲気等)	県教委 特別支援教育新任者基礎研修	愛媛学びの森(ログイン必要) 特別支援教育校内研修プログラム集 https://manabinomori.esnet.ed.jp/shiyo.shu/page_20220329_040707	
	11 教室の使い方や授業の流れなど、学習のルールが分かりやすく設定されている。	県教委 特別支援教育2年目強化研修		文部科学省「2管理職をはじめとする教員の理解啓発・専門性向上のための体制構築事業」  準備中
	12 児童生徒とともに本時のめあてと評価を行い、学習の目標が共有されている。	教育センター 課題別研修【特別支援教育】通級による指導担当者スキルアップ 教育センター 課題別研修【特別支援教育】通常の学級における特別支援教育の観点を取り入れた授業づくり		 準備中
IV 支援体制構築に向けた	13 連絡ファイル等を通じて、学級担任や保護者と連携を図っている。	県教委 特別支援教育新任者基礎研修	愛媛学びの森(ログイン必要) 特別支援教育校内研修プログラム集 https://manabinomori.esnet.ed.jp/shiyo.shu/page_20220329_040707	
	14 在籍学級の様子を参照したり、通級による指導の様子を学級担任に参照してもらっている。	県教委 特別支援教育2年目強化研修		文部科学省「2管理職をはじめとする教員の理解啓発・専門性向上のための体制構築事業」  準備中
	15 学習の様子をもとに、個別的教育支援計画を記載し、関係機関との連携を図っている。	県教委 特別支援教育コーディネーター研修会		
	16 児童生徒の学びが通常の学級の中で生かせるよう校内で行っている。	教育センター 課題別研修【特別支援教育】通級による指導担当者スキルアップ 教育センター 課題別研修【幼児教育】学びをつなぐ連携・協働の在り方 教育センター 課題別研修【特別支援教育】特別支援教育コーディネータースキルアップ		

<その他 教育センター研修(参考)>
えひめ教師塾(教員志望の学生及び若手教員対象)「特別な教育的ニーズのある子どもの理解と支援」「これだけはおきたい教育相談のポイント」、放課後ミニ研修「ちょっと聞きたい!特別支援教育(特別支援教育1・2年目対象)」「みんなで話そう!特別支援教育(特別支援教育に興味のある人対象)」、出前講座「特別な教育的ニーズのある子どもの理解と支援」「子どもの実態把握から指導・支援の手立てへ」

チェックリスト項目に関連する研修やサイトの紹介



3 取組概要・成果

(2) 通級指導担当教員及び指導的立場の教員等の育成

発達障害のある児童生徒等に対する支援事業
(効果的かつ効率的な巡回指導の実施に向けたモデル構築事業)

愛媛県教育委員会

【成果物「自立活動の教材「令和6・7年度第2回通級による指導担当教員専門性強化研修会 自作資料集」】

「様式1」
令和7年度第2回通級による指導担当教員専門性強化研修会自作教材紹介

番号	学校名	氏名
学級種別	高校通級	
1. 教材・教員名		
場面設定カード・課題プリント（自分の考えを記入したり、他者の意見をメモしたりする）		
2. 自立活動の内容と準備物		
区分・項目	2 心理的な安定（2状況の理解と変化への対応に関すること）	
準備物	様々な場面設定の説明が記載されたカード・課題プリント	
3. 指導について		
ねらい	<input type="checkbox"/> 自分の考えを相手に伝えたり、他者の意見を聞いたりして、いろいろな考え方があつたことを知る。 <input type="checkbox"/> 状況を理解して、適切な行動のとりの方を身に付ける。	
学習活動	教師の支援 (○)・生徒 (◎)	
1 本時の学習内容の確認をする。	<input type="checkbox"/> 日々の学校生活のなかで、困っていることはないか確認をする。 <input checked="" type="checkbox"/> 困ったことに直面した際、どのように行動し対処するべきかを考える。	
2 場面設定カードについて説明する。	<input type="checkbox"/> 自分の考えを発表したり、他者の意見を素直に聞いたりするように注意事項を伝える。	
3 場面設定カードに記載された状況について意見交換する。	<input checked="" type="checkbox"/> 複数ある場面設定カードの中から、好きなカードを選択する。 <input checked="" type="checkbox"/> 場面設定カードに記載された文章を音読し、状況をイメージして自分だったらどのように行動するか、課題プリントに考えを記入する。	
4 本時の学習内容のまとめをする。	<input type="checkbox"/> 口頭説明だけでなく、ロールプレイを適宜取り入れて、生徒の理解度が高まるようにする。 <input checked="" type="checkbox"/> 自分の考えや他者の考えを受け入れ、自分の答えが全てではないことを知り、様々な対応方法があることを理解する。 <input checked="" type="checkbox"/> 状況を判断し、適切な対応をとる方法を身に付ける。	
指導のポイント	<input type="checkbox"/> 生徒だけでなく教師が参加し、複数で実施することで自分の考えだけではなく人によって様々な考え方や対処方法があることを理解させる。 <input type="checkbox"/> 生徒が答えた内容は、肯定するのではなく、違った捉え方もあるという柔軟性を身に付けさせる。 <input type="checkbox"/> 場面設定カードの内容は、日常生活で起こりうる内容を扱う。	

図1 様々な場面設定の説明が記載されたカード

掲載

ようこそ！愛媛学びの森学習支援サイトへ

児童生徒の主体的な学びを促す学習支援サイト

「愛媛学びの森」学習支援サイト

愛媛県では、「第4期愛媛県学力向上推進3か年計画」の下、
資質・能力の育成に資する授業改善に視点を当て、
これまで培われてきた愛媛教育のよさと
これから築き上げていく適切なICTによる教育
を効果的に組み合わせることで、
更なる学校教育の質の保証・向上を目指します。

伝統ある愛媛教育 ～ 学力向上に係る三つの力～

愛媛学びの森

検索ボックス
検索はキーワードを、

おすすめ
■令和6年度エキスパート・ティーチャー授業研究会に係る学習指導案・指導資料集
■学力向上だより

資料集

令和6・7年度第2回通級による指導担当教員専門性強化研修会_自作資料集

- 健康の保持
 - 生活のリズムや生活習慣の形成に関すること
ア 1日の生活を振り返ろう.pdf イ SSTすごろく.pdf
 - 障害の特性の理解と生活環境の調整に関すること
ア 現場実習評価表.pdf イ 自分研究所.pdf
- 心理的な安定
 - 情緒の安定に関すること
ア アンガーマネジメントについて.pdf イ はねてドキドキ紙コップ.pdf
ウ すごろくトーク.pdf エ 大型オセロ.pdf

【自作資料の一例】

3 取組概要・成果

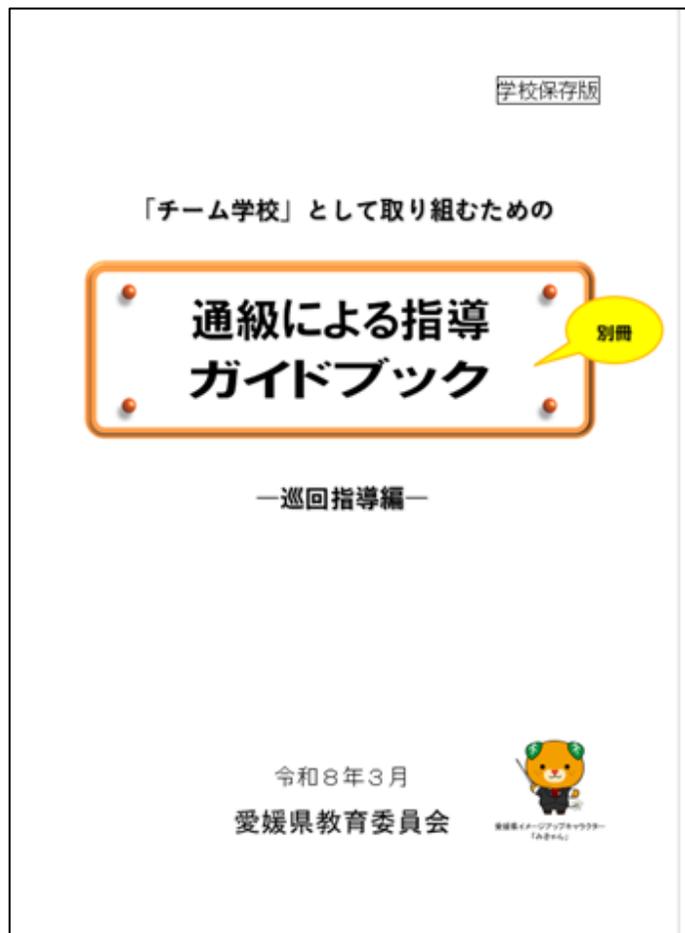
(2) 通級指導担当教員及び指導的立場の教員等の育成

発達障害のある児童生徒等に対する支援事業
(効果的かつ効率的な巡回指導の実施に向けたモデル構築事業)
愛媛県教育委員会

【成果物（案） 「「チーム学校」として取り組むための通級によるガイドブックー巡回指導編ー」】



別冊を作成中



目次

はじめに

第1章 事業概要編

1 事業背景・事業目標 1

2 取組概要（R5年度～R7年度）.....

第2章 研究編

1 県教育委員会の取組

2 宇和島市教育委員会の取組（R5年度～R6年度）.....

3 今治市教育委員会の取組（R7年度）.....

4 宇和特別支援学校（聴覚障がい部門）・松山盲学校の取組.....

第3章 実践編 —モデル校及びモデル地域—

1 弱視のある児童生徒への指導

2 難聴のある児童生徒への指導

第4章 資料編

1 指導案作成の例（宇和島市・今治市）.....

2 通級による指導のためのチェックリスト.....

3 自立活動の教材集.....

4 通級指導教室担当者手引（宇和島市・今治市）.....

モデル地域において、通級による指導で行った指導内容を通常の学級で効果的に生かせるよう、巡回先校の教職員の特別支援教育に対する資質向上のための指導・助言や管理職へ理解啓発を行い、巡回先校の支援体制整備を図った。

取組内容（詳細）

- ・巡回先校における研修会の実施
- ・巡回先校における環境整備
- ・巡回指導ADによる在籍学級担任や特別支援教育コーディネーターへの具体的な指導・助言

特色・ポイント

通級指導担当教員が指導に集中できるように、巡回先の校内支援体制の構築に係る指導・助言を行う専任の専門家を委嘱し、研修等を行った。

取組の成果

- 通級による指導での学びを在籍学級で生かす重要性について、専門家による具体的な事例をもとにした講義を行うことで、巡回先校における支援体制への啓発ができた。
- 巡回先校に必要な体制整備について、巡回指導を今後受け入れる学校全てで専門家が研修を実施することにより、環境整備及び通級指導担当教員との連携等の具体的な方法を共有することができた。
- 巡回先校の通級による指導への理解を図る研修について、委嘱した専門家が担当することで通級指導担当教員は指導に専念できた。



【巡回先校における研修会の様子】

★ 「自立活動」とは

【自立活動のねらい及び目標】

個々の児童又は生徒が自立を目指し、**障害による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服する**ために必要な知識、技能、態度及び習慣を養い、もって心身の調和的発達の基盤を培う。

【小学部・中学部学習指導要領(第7章 自立活動)より】

波方小学校 巡回指導教室



【巡回先校における研修会での資料】

3 取組概要・成果

(4) 巡回先校における教員等の理解啓発

モデル校（松山盲学校・宇和特別支援学校（聴覚障がい部門））において、巡回指導及び巡回相談で行った内容を通常の学級で効果的に生かせるよう、巡回先校の教職員の特別支援教育に対する資質向上のための指導・助言を行った。また、県主催の研修会（オンライン）において巡回先校特別支援教育コーディネーターも対象に含め、事業を周知し、巡回指導を行う教員を支えるための理解啓発を行った。

取組内容（詳細）

- ・通級による指導担当教員による在籍学級の授業参観
- ・巡回指導及び巡回相談の様子を研修会で公開
- ・巡回指導SVによる在籍学級担任や管理職への指導・助言

特色・ポイント

- ・視覚障がいや聴覚障がいに対する専門的知識と指導経験を有する教員における指導により巡回先校の教員等へ具体的な指導助言が可能となった。
- ・巡回指導SVの訪問により、在籍児童生徒に係る障がい特性や支援の在り方を管理職が理解する機会を生んだ。



【特別支援学校
教員による
指導の様子】

取組の成果

- 少数障がい種に関する支援についての知識や経験が少ない在籍校教員が、特別支援学校教員による障がい特性を踏まえた具体的な指導方法や支援を直接見聞きできた。
- 巡回指導SV訪問時には管理職と話し合える場を設けたことにより、指導対象児童生徒に対する合理的配慮への具体的な方法を管理職が理解することができた。

4 事業成果のまとめ

- ・モデル地域の取組を参考にした巡回指導を開始した地域の増加
- ・通級による指導担当教員の専門性向上を図るための研修機会の確保、教材・教具の作成
- ・巡回指導担当教員の負担軽減もつながら巡回先校における体制整備や教員の指導力向上を図る実践

事業目標等

① 体制整備

モデル地域及びモデル校の実践を事例に、通級指導教室未設置校への巡回指導に係る体制整備を行う。

② 専門性向上

通級による指導担当教員の専門性向上を図る。

③ 連携

巡回先校における体制整備及び教員等の専門性向上を図り、巡回指導担当教員との連携を強化する。

事業成果（定量的成果・定性的成果）

事業開始前（令和4年度）

愛媛県内20市町中
巡回指導実施地域 1
※通級指導教室未設置地域 3

通級指導教室設置特別支援学校 1校

事業終了時点（令和8年1月現在）

愛媛県内20市町中
巡回指導実施地域 11
※通級指導教室未設置地域 0

令和8年度から松山盲学校も開始

- ・通級による指導を担当する全ての教員を対象にした研修を年3回実施
- ・自作資料のデータベース化
- ・通級による指導担当教員の専門性を確保するための自己評価や管理職等の参観視点となるチェックリスト及びチェックリストに基づく研修一覧表の作成

- ・在籍校において巡回指導担当教員や専門家による研修会の実施
- ・モデル地域による巡回指導を含む通級による指導の手引の作成と周知
- ・巡回指導担当教員及び巡回指導SV、巡回指導AD、専門家と巡回先校との連携による、巡回先校における体制整備や理解啓発の促進

5 今後の展望

- ・巡回指導未実施地域における助言や情報共有の継続
- ・小学校及び中学校での実践を生かした高等学校における通級による指導の充実

事業成果の活用・普及等

ガイドブック

モデル地域及びモデル校での実践を共有し、希望するどの地域においても巡回指導を可能とする取組を支援する。

作成した教材・教具の周知

本事業で作成したチェックリスト、研修一覧表、自作資料等を周知するため、様々な研修会等で紹介していくと共に、特別支援教育地域リーダーに積極的な活用を促す。

成果報告会

通級指導担当教員等、通級に関わる関係者に行う成果報告会の内容を、Plantにて県内全ての公立教職員に閲覧可能とし、事業内容及び成果を共有する。

今後の課題等

- 中学校及び高等学校における通級による指導の充実
- 通級による指導に係る専門性の向上を図るための研修機会の確保